（２０１７年２月）

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

＜ポイント＞

【政治】

●ジョヴネル・モイーズ（Jovenel MOISE)新大統領の就任式典開催（７日）

●エネックス・ジャン・シャルル（Enex JEAN-CHARLES）首相の辞任（９日）

●ラドスース（Herve LADSOUS）国連ＰＫＯ局長（団長）が戦略評価ミッション（ＳＡＭ）を実施し，国連ハイチ安定化ミッション（ＭＩＮＵＳＴＡＨ）のＰＫＯ部隊軍部門の漸減的撤退の可能性を示唆。（９日）

●モイーズ大統領はカリブ共同体（ＣＡＲＩＣＯＭ）首脳会議の第２８回中間会合に参加し，グレンジャー（David GRANGER）ガイアナ大統領（カリコム議長）と会談し，二国間経済・外交に言及。（１６日）

●モイーズ大統領は，ジャック・ギィ・ラフォンタン（Jack Guy LAFONTANT）氏を首相に指名（２２日）（注：議会による承認を経る必要がある。）

【経済・社会・文化・その他】

●南県レカイ等にて，ナショナル・カーニバル開催。（２６日～２８日）

１　政治（選挙・内政・外交）

（１）大統領就任

● ７日　ジョヴネル・モイーズ新大統領の就任式典開催。日本からは，薗浦外務副大臣（総理特使）ほかが出席。前ジョスレルム・プリヴェール（暫定）大統領から議会へ大統領綬の返納を行った後，モイーズ新大統領への授与が行われた。

● 同日　モイーズ大統領は大統領就任演説において，民主主義や三権分立を尊重した政権運営に加え，誰も排除しないインクルーシブな社会経済の在り方を強調。特に，若年層と国外のディアスポラ（注：海外ハイチ人）の協働が，雇用を創出し，国の発展に寄与することに言及。経済改革として，外資企業の誘致，若年層を対象とした農業セクターの開発，農業生産物の輸出，自然を活かした観光開発を挙げた。

（２）上院議員１／３改選選挙

● ８日　臨時選挙管理委員会（ＣＥＰ）は上院１／３改選選挙の第２回投票結果のうち，異議申し立てのなかった５県について確定結果を公表。（１）北西県ケドレール・オーギュスタン（Kedlaire AUGUSTIN）（ＰＨＴＫ）65.50%，（２）西県パトリス・デュモン（Patrice DUMONT）（ＲＰＨ）57.40%，（３）ニップ県，ドニ・カドー　(Denis CADEAU)（ＢＯＵＣＬＩＥＲ）59.45%，（４）グランダンス県ジャン・リゴー・ベリゼール（Jean Rigaud BELIZAIRE）（ＣＯＮＳＯＲＴＩＵＭ）52.83%，（５）アルティボニット県ガルシア・デルヴァ（Garcia DELVA）（ＡＡＡ）53.85%

（３）首相の辞任・選出

● ９日　エネックス・ジャン・シャルル首相は新内閣発足のため，モイーズ大統領，ラトルトュ(Youri LATORTUE)上院議長，シャンシー(Cholzer CHANCY)下院議長に辞表を提出。また，この前日，同大統領と上・下院議長は，次期首相の指名に向けた協議を行った。

●２２日　モイーズ大統領はジャック・ギィ・ラフォンタン氏を首相に指名。同氏は，消化器内科医で，現在はハイチ国立大学及びハイチ・ノートルダム大学の教授を務め，ペチョン・ヴィルのロータリー・クラブの元会長も歴任。バロー（Olivier BARRAU）氏（注：ハイチ経済界で成功を収める実業家），上・下院議長の首相指名も噂される中，「大統領の非常に親しい友人」として知られる同氏の指名は異例。（注：議会による承認を経る必要がある。）

（４）大統領府の人事

●１０日　大統領令により，大統領府における４名の人事が公表。（１）ウィルソン・ラロー（Wilson LALEAU）氏，大統領府官房長（大臣級）。（２）ルナルド・リュベリス（Renald LUBERICE）氏，閣議事務局長（大臣級）。（３）イヴ・ジェルマン・ジョセフ（Yves Germain JOSEPH）氏，大統領府事務局長（大臣級）。（４）マルク・マリー・イヴ・マジル（Marc Marie Yves MAZILE）氏，大統領府儀典長（大使級）。

（５）国連ハイチ安定化ミッション（ＭＩＮＵＳＴＡＨ）

● ９日　ラドスース（Herve LADSOUS）国連ＰＫＯ局長は，大統領就任式の出席に併せてミッション（注：戦略評価ミッション（ＳＡＭ））を実施。ハイチにおける治安状況には明らかな改善があったとして，ＰＫＯ部隊軍部内の漸進的撤退の可能性が高く，同方法について検討を行っていると述べた。また，同ミッションが法の支配とハイチ国家警察（ＰＮＨ）の強化に貢献してきたことを指摘し，現在訓練中の正規警察官が１５,０００人に達する見込みである旨を伝えた。

（６）ハイチ・カリコム関係

●１６日　モイーズ大統領はガイアナで開催されたカリブ共同体首脳会議の第２８回中間会合に参加し，安全保障，テロ，麻薬取引などのカリブ諸国が今日直面している戦略的問題に加え，自然災害等の気候変動問題を議題に挙げ，カリコムに加盟する１５か国が共同して自然災害に関連するリスクを補うための保険制度の整備について提案。また，グレンジャーガイアナ大統領（カリコム議長）と会談し，二国間における木材貿易開発について議論。今後，相互に名誉領事館の開設に取り組むと言及。

２　経済・社会・文化・その他（カーニバル）

（１）ナショナル・カーニバル

●２６日～２８日　ハイチ国家警察は全国的に開催される３日間のカーニバルにおいて，計６５００人余りの警察官の配備を発表。モイーズ大統領夫妻が参加する南県レカイのナショナル・カーニバルでは，１５００人の警察官と１５００人地域の若者が警備や運営にあたった。レカイのカーニバルは，２．４億グルド（注：３５０万ドル相当）の予算（推定）を投じ，１３６ピットのスタンド，２０個ほどの音楽や寓話のために作られた山車が設置された。